

## シンポジウム『制度改正の方向と事業所の未来』

沖縄県手をつなぐ育成会 理事長 田中 寛

### \*障がいのある子の保護者としての不安

目まぐるしく変わる制度の中で、最大の懸念、そして悩みは親亡き後のことである。

○親亡き後は親のいるうちに計画したいもので、問題点は、分類すると3つ。

(住居、金銭、身辺自立のうち、事業所が係れることは?)

○国に対する要望は、個々に応じた支援体制の充実

- ・働ける人、働くことが厳しい人、それぞれへの個々に応じた支援が不明確。
- ・離職後の新たな道筋が見えにくい。(犯罪への不安)

### (相模原事件後に生じた不安と対応)

#### 1、利用者の親の立場として事業所に望むこと

○支援内容やスタッフに対する期待と不安

- ・自己決定支援は本当に当事者のために作られ、実行されているのか?  
(相談員や事業所の係る個別支援計画の在り方と決定、実行)

○スタッフの資質

- ・職員の認識、待遇、そして表に出てこない虐待問題(相模原事件)

○親の会と事業所との関係(コミュニケーションの充実)

○親の会の存在と意義

当事者が安全で安心して過ごせる事業所への親の支援体制は?

#### 2、事業所を経営する立場として

○安定した経営状態を保つための条件は、利用者への充実した支援。

- ・安全・安心・充実は必須条件。

○制度や施策への要望。

- ・事業の再利用を活用した事業間の移行(自立訓練、B型、就労移行)
- ・小規模事業所への報酬単価の引き上げは必要  
(家賃、利用者数、職員研修)

#### 3、高齢化問題や住まいの確保について

65歳から介護保険適用

#### 4、地域生活拠点支援事業などの活用は可能か?

家族同居の支援体制や緊急時の対応は可能か?(予約なしで可能か?)